

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム白梅の里
作成日：平成25年2月6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	指針作成と内容開示	ご家族との信頼関係を深める為、家族会を開催して掲示する。 勉強会にて、職員内意識統一を図る。	1ヶ月
2	19	居心地の良い共有空間づくり	職員紹介の掲示	職員の顔写真と、自己アピールを一言添えて、ご利用者様、お客様に紹介する。	1ヶ月
3	1	理念の共有と実践	各季節ごとのケア努力目標をたてる。	春： 3月・4月・5月 秋： 9月・10月・11月 夏： 6月・7月・8月 冬： 12月・1月・2月	1ヶ月
4	13	災害対策	災害に向けての避難訓練	実際、火災が起きてしまった時を想定しての訓練(日中と夜間を想定し1回ずつ) (最低2回)	2ヶ月
5	2	事業所と地域とのつきあい	認知症についての理解を高める	公民館などを利用して、地域の人に認知症について、職員が話す時間をつくる。	3ヶ月
6	3	運営推進会議を活かした取り組み	ホーム運営の活性化に繋がる会議	毎月の里便りを見て頂く。 外部評価結果をもとに、目標達成に向け具体的にかかげた内容を説明し結果を報告する	1ヶ月

7	10	チームで作る介護計画とモニタリング	ケアに対する意識向上に努める	・ケアプランに対する勉強会を設ける。 ・職員の資格取得 ・職場にある沢山の本を読み、活用し、介護の向上に努める。	1ヶ月
8	15	食事を楽しむ事の出来る支援	ご利用者様の残存能力を活かす	些細なことでもやっていただき、人の役に立つ喜びを味わって頂く。	1ヶ月
9	8	馴染みの人や場との関係継続維持の支援	ご利用者様の残存能力を活かす特技や好きな事を見つけ支援する。	ご利用者様のレベル低下により、なかなか難しいが、ご利用者様の笑顔を見るための努力をする。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。